

○学科グランドデザイン〈経理科〉

目指すべき人材像

「第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人」

→ AI、IoTと共存しながら地域社会のために自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

【経理科の目標】

簿記会計の役割を理解し、その能力を活用できる人材の育成

【目指す生徒像】

- 会計分野の知識について自信をもつことができる人材
- 簿記会計の役割を理解し、職業人としての倫理観をもつ人材
- 自ら課題を発見し、解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

【何ができるようになるか】※経理科の学習を通して育成すべき資質・能力

- ①実務に即した会計分野の知識と技術を習得し、社会的役割を理解することができる。
- ②職業人としての倫理観を培うことができる。
- ③自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して創造的に解決する能力を身に付けることができる。
- ④ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。



【科目「課題研究」におけるアプローチ】

〔講座〕

- | | | | |
|---------|-----------|--------|----------------|
| ○ショップ豊商 | ○インターンシップ | ○高大連携 | ○豊商スクールプロモーション |
| ○商品企画 | ○会計研究 | ○小中高連携 | |

☆担当講座において育成すべき資質・能力の設定

☆担当講座の年間学習指導計画の作成

どのように学ぶか（授業の実施）

☆求める資質・能力と一貫性のある観点別評価規準及び評価方法の研究

何が身に付いたか（学習評価）

・評価方法の研究

観察法、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価（ルーブリック）

ポートフォリオ評価、観点別評価

・評価規準の精選

評価項目の明確化

・自己評価や相互評価等のワークシート作成と実施

☆生徒の変容把握のための事前アンケートの実施

現状の生徒の状態を事前アンケートでつかむ

☆生徒が自主的に課題設定に取り組むためのケーススタディやディベート等の研究と教材の作成

・生徒が何を身に付けたいのか

ケーススタディ ← ケース設定

ディベート ← テーマ設定

【生徒の実態】

- 検定に合格しても会計分野に自信がない。（学んだ知識が実務でどのように役立つかわからない）
- 検定の合格を目指すことは就職や進学するための手段になっている。
- コミュニケーション能力を向上させたいと思っているが、何をすればよいかわからない。